



第十一卷第六號

今月二十一日

今月二十一日はフレール先生の五十九年忌にあたる。其の年四月二十一日第七十回の誕辰をリーベンスタインに祝して、盛大なる古稀の壽筵を張つた後、間もなくして此の終焉となつたのである。吾人は今更先生の教育上の功蹟を繰り返へすまでもないことであるが、巖々の此の忌日に當つて、當時を偲んで遺憾に思ふ二つの感想がある。一つは全くの私事であるが、先生を助けて其の大生涯を完からしめた賢夫人ウキルヘルミナが、十一年前既に他界の人となつて先生臨終の枕邊に居なかつたことである。之れは老いたる先生の爲に何ぼうか物足りなさのことであつたらうと思ふ。併し之れは人の天命である。如何ともすることは出来ないが、もう一つの恨事は吾等が今に思ふても實に遺憾にたえぬことである。それは他でもない。千八百五十一年に普魯西政府から發布せられた幼稚園禁止令が、此の時未だ解除せられずに居たことである。先生の幼稚

園事業に對する確信は、遠き將來の隆盛を確信して疑はず、此の位の蹉跌を以て動くものではなかつたに相違ないが、それにしても我が畢生の事業が、其の本國に於てかゝる有餘にあるを見ながら逝かねばならぬ臨終の心は、何とも察し様ないのである。禁止令が出で、から、先生及び同志の人々は随分苦心して其の解除につとめた。先生は言論を以てする爲に機關雜誌まで發行せられたが、それも又禁止せられた。先生は己むを得ず亞米利加の新天地へ移つて其の畢生の事業を完ふしようとも計畫せられた程であつた。七十近い此の老先生が、事業の爲には遙々亞米利加まで渡られようとする。其の熱心に敬服すると共に其の苦衷やどんなであつたらう。先生死後十四年を経て、此の禁止は漸く解除せられたが、それは先生の耳に告げ目に見せて安心させることの出来ることではなかつた。

併し、之れは吾等の情である。先生の將來を期し

て疑はれなかつた事業の完成は、今に於て、其の確信の空しからぬことを示して居る。尙之れから將來に於て、益々其の氣運を進めようとして居る。先生に先だつて逝いた夫人ウキルヘルミナの内助の功も決して空のものではなかつた。此の世の失敗を以て終つたらしかつた先生の計畫も決して空のものではなかつた。

吾々は吾々の日々の仕事の遅々として結果のあがり難いのを悲しんではならぬ。幼稚園教育が他の教育に對して花々しい盛なる位置にないことを嘆じてはならぬ。フレーベル先生ですら思ふ様には成功しなかつた。吾々はたゞ先生の不休の熱心と奮闘を學べばいゝ。ウキルヘルミナの隠れたる至誠と忠實とを學べばいゝ。シユワイナの邑にある先生の墓石は昔古りても、其碑銘は常に新らしい警めを吾等に與へるではないか。

「來れよ、吾等をして兒童と共に活かしめよ」